

第2部

計画等の進捗状況

第1章 栃木県環境基本計画の進捗状況

本県においては、県の環境保全に関する基本目標と長期的な施策の方向を掲げた栃木県環境基本計画(令和3(2021)年3月策定)に基づき、県民、事業者及び市町の参加と協力のもとに、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向け、4つの基本目標と17の指標を設定の上、取組を進めてきた。本計画の最終年度である令和7(2025)年度における達成状況の評価は下記のとおり。

基本目標	指標数	達成状況		
		達成	概ね達成	未達成
1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」	6	3	2	1
2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」	2	0	2	0
3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」	6	4	1	1
4 人と自然が共生する「とちぎ」	3	0	1	2
計	17	7	6	4

※概ね達成：目標値と基準値の差に対し、実績値と基準値の差が7割以上達成しているもの

1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」

指標項目	基準値 R 1 (2019)	実績値					目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	
①温室効果ガス排出削減率(%) <H25(2013)年度比>	10.6 [H29]	13.7 [R1]	16.4 [R2]	14.9 [R3]	20.2 [R4]	23.1 [R5] 概ね達成	32.0 (R5目安値:24.3)
②エネルギー消費削減率(%) <H25(2013)年度比>	6.8 [H29]	10.0 [R1]	13.6 [R2]	14.1 [R3]	13.2 [R4]	19.2 [R5] 達成	21.4 (R5目安値:17.5)
③再エネ電力自給率(%)	21.2	26.5	33.3	36.1	37.0	37.7 達成	35.2
④電動車新車購入率(%)	29.3	31.1	36.7	43.2	48.9	44.9 概ね達成	50.0
⑤再生可能エネルギー設備導入 容量(万KW)	262	296	342	364	376	384 達成	380
⑥県内民有林の間伐面積 (ha/年)	3,254	3,357	3,177	3,182	3,164	3,027 未達成	3,500

※ 表中の設定値及び実績値の[]内はその数値の年度データ。

【評価・今後の方針】

①温室効果ガス排出削減率

[評価]

- ・ エネルギー消費量の減少等により着実に削減。電力排出係数が前年度に比べて上昇したことにより、温室効果ガス排出削減幅は低下。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》省エネルギー対策及び再生可能エネルギーの導入拡大等に取り組み、2030年度排出量削減率50%の目標達成を目指す。

②エネルギー消費削減率

[評価]

- ・ 事業者や家庭におけるエネルギー消費量の減少や自動車の燃費改善等によりガソリン等の消費量が減少したことから、削減率は順調に上昇。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》事業者や家庭における省エネルギー対策の取組を着実に実施。

③再エネ電力自給率

[評価]

- ・ 電力需要量の減少と太陽光発電設備による発電量の増加により順調に増加。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》省エネルギー対策及び再生可能エネルギーの導入拡大に取り組み、引き続き再エネ自給率の増加を目指す。

④電動車新車購入率

[評価]

- ・ 国、県及び市町におけるZEV導入に対する助成に加え、充電インフラの環境整備等も進んだことから順調に増加。令和7（2025）年度は一部メーカーでの半導体不足による車両減産が影響。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 新指標「乗用車保有台数に占める電動車の割合」を設定し、引き続き電動車への転換を促進。

⑤再生可能エネルギー設備導入容量

[評価]

- ・ 太陽光発電設備の導入拡大により順調に増加。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》引き続き、再生可能エネルギーの導入を促進。

⑥県内民有林の間伐面積

[評価]

- ・ 限られた労働力の中、主伐や保育の実施面積の増加に伴い、間伐面積が減少。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 新指標「適切な森林整備面積（造林・間伐面積）」を設定し、森林の持つ公益的機能の維持・向上に向け、間伐の着実な実施を推進するため、林業労働力の確保・育成や森林整備の労働生産性の向上に取り組む。

2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」

指標項目	基準値 R 1 (2019)	実績値					目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	
⑦電力自給率(%)	40.3	66.9	78.2	79.0	84.6	81.1 概ね達成	85.0
⑧地域電源供給拠点数(箇所) ※累計	0	0	0	0	6	45 概ね達成	50

【評価・今後の方針】

⑦電力自給率

[評価]

- ・ 大型火力発電所の稼働及び太陽光発電等再生可能エネルギーの導入拡大により順調に上昇。令和7（2025）年度は大型火力発電所の休止に伴う発電量低下が影響。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 指標「再生可能エネルギー導入容量」を設定し、再生可能エネルギーの導入拡大を促進することで、電力自給の向上を目指す。

⑧地域電源供給拠点数

[評価]

- ・ 整備が進まない要因として初期コストが高額であると考えられたため、補助制度の拡充のほか、令和6（2024）年度から地域電源供給拠点登録制度を創設し、再エネ由来以外の電力を用いている設置済みの急速充電器を登録可能としたことで、拠点数を確保。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》令和8（2026）年度中に50箇所に到達予定。引き続き、災害時のレジリエンス強化を図る。

3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」

指標項目	基準値 R 1 (2019)	実績値					目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	
⑨大気環境基準（NO ₂ ）達成率（%）	100	100	100	100	100	100 達成	100
⑩公共用水域の環境基準（BOD）達成率（%）	96.9	100	100	98.5	98.5	93.8 未達成	100
⑪生活排水処理人口普及率（%）	87.7	88.8	89.3	89.9	90.6	91.1 達成	90.7
⑫県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量（g）	672 [H30]	699 [R2]	682 [R3]	664 [R4]	637 [R5]	634 [R6] 達成	650 (R6目安値:650)
⑬県内で排出された一般廃棄物の最終処分量（千t）	57 [H30]	63 [R2]	58 [R3]	63 [R4]	56 [R5]	54 [R6] 概ね達成	53 (R6目安値:53)
⑭県内で排出された産業廃棄物の最終処分量（千t）	87 [H30]	87 [R2]	88 [R3]	84 [R4]	77 [R5]	76 [R6] 達成	84 (R6目安値:84)

※ 表中の設定値及び実績値の[]内はその数値の年度データ。

【評価・今後の方針】

⑨大気環境基準（NO₂）達成率

[評価]

- ・ 県内の測定地点21地点（一般環境大気測定局15局、自動車排ガス測定局6局）全てにおいて環境基準を達成。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》引き続き、常時監視調査と工場・事業場排ガス対策等を実施。

⑩公共用水域の環境基準（BOD）達成率

[評価]

- ・ 県内河川の67観測地点（65水域）のうち4地点（4水域）で環境基準を超過。基準値超過の要因は特定できなかったが、当該地点は渇水時に基準を超過する傾向。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》引き続き、常時監視調査と生活排水対策、工場・事業場排水対策を実施。

⑪ 生活排水処理人口普及率

[評価]

- ・ 下水道や合併処理浄化槽等の整備等が進んだことで普及率が増加。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》引き続き、生活排水処理施設の整備、管理等に取り組む。

⑫ 県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量

[評価]

- ・ 食品ロス削減の普及啓発や使い捨てプラスチックの使用削減の促進等により、排出抑制等の機運醸成が図られた。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》市町等に対する研修会等を通じて、ごみの排出抑制等7Rを促進。

⑬ 県内で排出された一般廃棄物の最終処分量

[評価]

- ・ 総排出量は減少しているが、最終処分量は十分に減少しなかった。可燃ごみの中への資源物や食品ロス由来廃棄物の混入等が課題。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》市町等に対する研修会等を通じて、ごみの排出抑制、資源ごみ分別の啓発等7Rを促進。

⑭ 県内で排出された産業廃棄物の最終処分量

[評価]

- ・ 排出事業者の発生抑制や再資源化の促進等により最終処分量が減少。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標継続》資源循環の高度化の推進や製造業とリサイクル業との連携等により、サーキュラーエコノミーへの移行を推進し、更なる減量を目指す。

4 人と自然が共生する「とちぎ」

指標項目	基準値 R 1 (2019)	実績値					目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	
⑮造林面積(ha/年)	408	387	431	528	480	482 未達成	700
⑯自然公園入込数(千人)	22,795	15,378	16,852	17,614	17,993	18,636 未達成	25,000
⑰野生獣による林業被害額(億円)	1.35	1.70	1.81	2.30	1.20	1.16 概ね達成	1.10

【評価・今後の方針】

⑮ 造林面積

[評価]

- ・ 主伐面積の増加に呼応して造林面積も増加。令和3（2021）年度のウッドショック以降、主伐面積が横ばいで推移したことに伴い、造林面積も伸び悩み。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 新指標「適切な森林整備面積（造林・間伐面積）」を設定し、二酸化炭素の吸収など森林の持

つ公益的機能の維持・向上及び森林資源の循環利用を促進するため、林業労働力の確保・育成や森林整備の労働生産性の向上に取り組む。

⑩ 自然公園入込数

[評価]

- ・ ガイドの育成等国立公園満喫プロジェクトの各種取組に積極的に取り組んだことにより、新型コロナウイルス感染症の流行時以降の落ち込みから回復傾向にはあるが、訪問先の多様化により目標は未達成。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 指標を継続するとともに新たに「日光国立公園訪日外国人利用者数」を指標に設定し、国立公園満喫プロジェクト等を推進することにより、自然公園の適正な利活用と環境整備を図る。

⑪ 野生獣による林業被害額

[評価]

- ・ 野生獣の捕獲や防護対策の実施により被害額は減少傾向。利用期を迎えた市場価値の高い樹木の剥皮被害が継続して発生。

[今後の方針（新計画）]

- ・ 《指標管理なし》狩猟者の確保・育成を図るとともに、効率的な捕獲の取組や防護対策への支援を実施。